



鴻池小学校

家庭学習の手引き

家庭学習で力をつけよう！

☆家庭学習のめあてをお家の人と一つ決めましょう！



1 家庭での学習の習慣化を！

- (1)学習時間のめやす
低学年40分 中学年60分 高学年60分以上
- (2)学力アップは規則正しい生活から
○早寝・早起き・朝ご飯
○メディア(テレビやゲーム、スマホ、タブレットなど)の時間を決めて
- (3)学ぶための意欲づくり
○「褒める・見守る・励ます」で子どもの意欲を育てる
- (4)家庭学習の3つのポイント
○テレビを見ながらしない
○よい姿勢でする
○机の上をきれいにして



2 家庭学習の進め方

※宿題は、必ずしなければならぬ課題です。
自主学習は、自分で課題を見つけ、追求する学習です。

- (1)音読
○大きな声ではっきりと読む
○背筋を伸ばし、教科書を正しく持って、よい姿勢で読む
○「」や句読点に気をつけて、間を大切に読む
○物語文では、登場人物の気持ちを考えて読む
- (2)漢字ドリル
○一字一字でいねいに書く
○答え合わせをして、正しい漢字で練習しましょう
- (3)計算ドリル
○式や答えだけではなく、途中の考え方や筆算などをノートに残しましょう
○定規を使って線を引いたり、いねいに書いたりしましょう
○間違えた問題は、やり直しましょう
- (4)ドリルパーク
○タブレットのミライシードの「ドリルパーク」を進んで取り組みましょう
○間違えた問題をそのままにせず、チャレンジしましょう
- (5)読書
○平日は学校で、週末は家庭で読書をしましょう
- (6)自主学習
○3年生以上は、自主学習を家庭学習にしています。習った漢字の復習や読書、学習したことをもう一度ノートにまとめ、学習に関連した内容をタブレットで調べるなど、自分でいろんな方法を考えながら取り組みましょう

3 各学年で身につけたい力

習慣づけの1年生

- ・鉛筆を正しくもって字が書ける。
- ・ひらがな、カタカナが読めて書ける。
- ・助詞「てにをは」を使い分けて文章を書く。
- ・担当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・たし算やひき算が正確にできる。

ねばり強い子にする2年生

- ・担当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・順序よく話をするができる。
- ・九九がすらすら言える。
- ・たし算、ひき算、かけ算が速くできる。
- ・筆算では定規を使い、位をそろえて書きながら計算できる。
- ・決められた長さの直線を正確に引くことができる。
- ・時計(アナログ)を見て、何時何分か読むことができる。

分岐点を乗り越える

3年生

- ・担当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・短い詩や百人一首をいくつか暗唱できる。
- ・国語辞典を使って意味が調べられる。
- ・簡単なことわざを知っている。
- ・ローマ字を読むことができる。
- ・かけ算やわり算など正しい手順で計算できる。
- ・コンパスを正しく使うことができる。
- ・はかりをつかって重さが読める。
- ・主語と述語の意味がわかる。

高学年になる準備の4年生

- ・担当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ・文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ・わり算の筆算ができる。
- ・ローマ字を適切に読み書きできる。
- ・地図帳を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- ・47都道府県の位置が分かり、正しく都道府県名を書くことができる。

大きくジャンプアップする5年生

- ・担当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・今まで習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。
- ・小数のかけ算・わり算ができる。
- ・分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ・百分率を使った問題を解くことができる。
- ・キーボードでローマ字入力し、目的に応じて資料を探ることができる。

中学校生活に希望が持てる6年生

- ・小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・小学校で習う漢字を使った熟語の8割以上が正しく書ける。
- ・歴史に残る古文のいくつかを暗唱できる。
- ・小数と分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。
- ・歴史上の人物や出来事について、だいたい説明できる。
- ・三権分立など、社会用語のだいたい説明できる。
- ・日本や世界の国々の主な国の位置を正しく示すことができる。
- ・理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。
- ・キーボードでローマ字入力ができる。目的に応じて資料を探し、活用することができる。